

# 荒川区議会

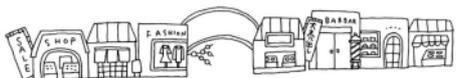
## 会派代表者会議の協議つづく



開会会議は、27日開催  
8日からはじまった会派代表者会議、はじめに荒川区議会の定例会(通年議会)の招集日、会期、開会会議の会期期間について確認。  
会派結成状況について報告がありました。14日現在で届けられている区議会の会派は9つです。(左下の表)  
区議選で、維新の党、新しい党、NHKから国民を守る党から当選した3人が会派を結成し、幹事長構成会派になりました。  
また、区議会  
常任委員会4つ、  
議会運営委員会、  
特別委員会の設置4つを決め、  
名称及び委員定数、正副委員長及び委員の会及び振りなどが  
引き続き協議されています。  
議員が選出される各種の協議

会、審議会等委員の正副委員長・会派及び委員の会派割り振りが提案されて協議されています。  
日本共産党は、少数会派の意見なども良く聞き、公正な民主的なルール確立に向けて、すべての会派に申し入れを行い、会派代表者会議に臨んでいます。  
みなさんのご意見、ご要望をお寄せください。

荒川区議会・会派 (5月14日現在)		
会派名	幹事長	人数
自民党	志村博司	11
共産党	横山幸次	6
公明党	松田智子	6
維新・新しい党	山田晴美	3
民主ゆいの会	竹内明浩	2
日本創新党	小坂英二	1
自由民主の会	藤沢志光	1
元気クラブ	河内ひとみ	1
立憲民主党	久家 繁	1



### 大津の事故を受け、区内保育園の安全点検・対策などを申し入れ



5/14 子育て支援部長に申し入れる区議員

区内の保育園でも、お散歩や公園に出かけることなど実施しています。この事件を受けて子どもたちの散歩や屋外での運動の機会が奪われることがあってはなりません。

すでに万全の対策を行っているとは思いますが区行政、保育園運営事業者、道路管理者、警察など連携して安全対策について、再点検を行うことなどを申し入れました。



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています  
日本共産党荒川区議団  
小林行男  
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 728

2019. 5. 19

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508

### 日暮里舎人ライナー赤土小駅前に自転車一時置場を!

「赤土小駅前にも病院への通院やお買物に利用できる自転車の一時置場がほしい」と声が寄せられました。

現在の自転車置場は年間契約になっているため、一時的に利用することができません。ただ、現在の置場は写真(左下)のように満車になっているわけではありません。あらためて担当部署に一時置き場としても使えるように改善することを求めました。



赤土小駅前の自転車置場

積極的な検討を期待したいと思います。

### 法律相談会

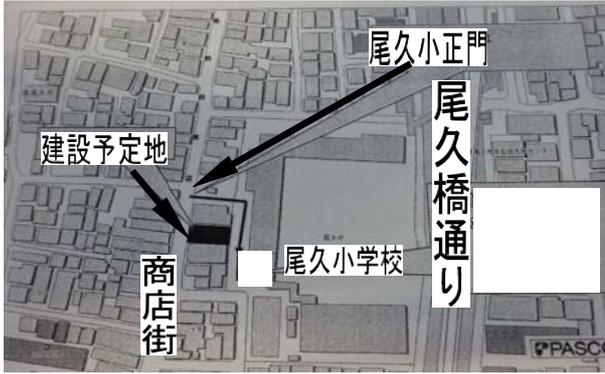


毎月第3火曜日(午後6時から)  
北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。  
できるだけ事前にご連絡ください。

5月の相談会は、  
5月21日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

# 尾久小学童クラブの建設が始まりました。



保育園待機児童問題が大きな問題になっていますが、当然のことながら小学校に入学してからの学童クラブの需要も高まっています。区内には定員100名を超える学童クラブなどあり必要な増設が求められています。

これまで尾久小学校に対応して熊の前ひろば館(アクト21内)の学童クラブが対応してきましたが、人数が増えて対応が難しくなってきたため、商店街側の土地を新たに確保。

3階建ての学童クラブの建設が着工いたしました。工事期間は、2020年2月末、完成。

開設準備を進め、4月開所なる予定です。



5 / 14 現在の状況



建物概要	鉄骨造
階数	地上3階建て
敷地面積	187.87㎡
延床面積	322.68㎡
建築面積	113.16㎡
最高高さ	10.315m

各階主要室など	
1階	106.12㎡ 学童室、事務室、だれでもトイレ等
2階	108.28㎡ 学童室、男女トイレ
3階	108.28㎡ 学童室、休憩・更衣室、トイレ

## 景気指数6年ぶりに「悪化」!消費税10%はやっぱり中止に!



内閣府が13日発表した3月の景気動向指数(2015年=100)速報値は、景気の現状を示す一致指数が前月比0.9ポイント低下の99.6となりました。基調判断は13年1月以来、6年2カ月ぶりとなる「悪化」に引き下げました。景気がすでに後退局面に入った可能性が高まりました。景気悪化の可能性を否定できなくなったもとの消費税増税はかつてない無謀な政策です。「悪化」の定義は「景気後退の可能性が高いことを示す」もので、6段階の基調判断

のうち最も低い判断です。これまでの「景気回復」が昨年10月に山を越えて下降し始め、その後も下向き圧力が強まっていることをうかがわせています。

政府は第2次安倍晋三政権発足の12年12月以来、景気拡大が続いているとしてきましたが、内閣府は景気動向指数の基調判断を1月に「下方への局面変化」に下方修正しました。

景気動向指数の基調判断は生産、在庫、投資、雇用、消費など幅広い経済部門の指数の変化によって「改善」「上方への局面変化」「足踏み」「下げ止まり」「下方への局面変化」「悪化」と区分されています。政府の月例経済報告の基調判断に政治的意図が反映するのは対照的に、客観的・自動的に基調判断が下されるのが特徴です。



○4月15日、沖縄は本土復帰(1972年5月15日)から47年の「復帰の日」を迎えました。いまだに全国の約7割の米軍専用施設が沖縄にあり、県民は基地があるが故の事件・事故の恐怖にさらされ続けています。加えて安倍政権は、県民の民意を無視して、米軍新基地建設を強健で推し進めています。日米政府は県民の声に応えるべきです。